

# 岡崎武志の 今週イチオシ



講談社／1995円

木琴という楽器に一生を捧げた音楽家が平岡養一。通崎睦美『木琴デイズ』はその天衣無縫な音楽人生を追った評伝だ。木琴を独学で学んだ平岡は、22歳で渡米。アメリカは「木琴王国」だった。そこでラジオ番組を持つなど活躍、日米開戦で帰国。著者自身がマリンバ奏者で、幼い頃、平岡と共演したことも。数々の資料的発掘の上に書かれた評伝の厚みに加え、演奏家としての目が随所に効いている。「心の底から生み出される音楽」に応えた力作だ。